



九条の会. ひがしなだ ニュース

第38号

2013年3月

事務局 中村陽一 Tel&Fax 811-4562 E-mail youichi-nakamura@kcc.zaq.ne.jp

「憲法が危ない！ 3連続学習講座」を企画



第1回目の講師、石川康宏先生（神戸女学院大学教授）

ご承知のように、昨年末に行われた総選挙の結果、民主党政権の失政、民意を反映しない小選挙区制度などによって、自民・公明両党が政権に復帰し、衆議院を改憲勢力が3分の2以上を占めるような事態が発生しました。そして、現在、改憲発議は国会議員の3分の2以上の賛成を要すると定めた憲法96条を改定して、2分の1へと緩和する策動など、憲法改悪を目指す動きが強まっています。このような情勢の重大化にかんがみ、私達は4月、5月、6月と3回続けて「憲法が危ない！ 3連続学習講座」と題して、以下のような3回の連続学習会を企画しました。

（その1）

日時 : 4月17日（水）、17:30開場、18:00開演
場所 : 東灘区民センター第1会議室（8階）
テーマ : 「自民党の改憲案はどのような日本を目指すものか」
講師 : 石川康宏先生（神戸女学院大学教授）

（その2）

日時 : 5月11日（土）、13:30開場、14:00開演
場所 : 東灘区民センター第1会議室（8階）
テーマ : 「自民党改憲草案と秘密保全法」
講師 : 羽柴修先生（弁護士、9条の心ネットワーク代表）

（その3）

日時 : 6月23日（日）、13:30開場、14:00開演
場所 : 東灘区民センター第1会議室（8階）
テーマ : 「小選挙区制と憲法改訂の策動」
講師 : 上脇博之先生（神戸学院大学教授）

参考として第1回目のチラシを添付します。一ツ橋大学名誉教授の渡辺治氏の講演会で、「現在のマスコミは、戦前の体制翼賛政治時代のマスコミよりも性質が悪い。戦前はならまれたら軍隊に引っ張られたが、現在は自らが煽っている」といった趣旨の発言がありましたが、世の中が煽られてきな臭い空気に満たされる時、現行憲法を守り、生活に生かす運動の強化が強く求められています。この3連続学習講座で、自民党の改憲案が狙っているものは何か、秘密保全法にはどんな危険性があるのか、現在の選挙制度のどこが問題なのか、等についてしっかりと学習するために、是非ご参加下さい。

（中村陽一）

九条の会. ひがしなだ 7 周年記念講演会に参加しよう!

すでにご案内のように、3月31日(日)、13:30開場、14:00開演で、神戸市勤労会館308号室に於いて、「九条の会. ひがしなだ 7 周年記念講演会」を開催します。講師は、小森陽一先生(東京大学教授、九条の会事務局長)で演題は「どうなる憲法 どうなる私達の暮らし」です。講演会の後、第3回総会も開かれます。

今、情勢は激しく動き始めています。憲法96条改悪の策動や、前のめりになったTPPへの参加表明、普天間基地の辺野古への移転の準備、オスプレーの全国的な訓練飛行の開始、などなど。こうした情勢をどうとらえ、どう反撃して行くべきか、長年九条の会の運動に携わってこられた小森陽一先生のお話を、沢山のひとと共に聞きましょう。会場を満杯にして成功させましょう。(中村陽一)

2013年度の賛助会費への協力の訴え

新しい年度には、4月、5月、6月と3連続憲法学習会を企画するなど、学習会や講演会、あるいは戦争体験を語る会などの取り組みを一層強めたいと考えております。そのためには安定的な財政基盤の確立が不可欠です。そこで、より広範な方々に2013年度の賛助会費のご協力を呼び掛けております。賛助会費は年1口500円で、なるべく2口以上をお願いしおり、何口でも可能です。何かとご多用の時期ではありますが、ご協力の程よろしくお願い致します。賛助会費の納入は、口座番号:0900-6-217129の郵便貯金への振込か、最寄りの世話人への手渡しでお願い致します。(中村陽一)

「原発いらない!」 -3.10 原発ゼロ大行動に参加して-

首都圏反原発連合(反原連)が呼びかけた「0310 原発ゼロ★大行動」に参加してきました。大阪から東京まで、反原連のチャーターバスで移動。

現地に着いて食事を済ませ、少しゆっくりしてから日比谷公園へ着いたのは11時ごろ。「原発をなくす全国連絡会」の集会が始まっていました。反原連のミサオ・レッドウルフさんも連帯あいさつ。久しぶりに会う知人たちの姿もありました。公園内の別の場所では「Peace on Earth」のイベントも開かれました。

13時から、震災犠牲者への黙祷で開幕した反原連の集会は野外音楽堂いっぱい、中に入れぬ人もいたほどたくさんの参加者があふれていました。14時からデモ行進のスタート。



2013-03-10 日比谷公園を埋め尽くす人々



私はうたごえのメンバーたちと一緒に送り出しの演奏をすることに。長い行列はドラム中心のグループやヒップホップでアピールするサウンドカーなど多彩です。1時間あまり演奏し続け、最後尾を見送った後は国会図書館前のミュージックステージへ。ここでも30分あまり演奏しました。

最後は国会議事堂前へ。報道によると全ては4万人が参加したとのこと。

もっともっと声を大きくして、原発を完全に無くしたいものです。(兵頭憲一)

➡ 2013-03-10 ミュージックステージ

関電前集会に通ってます

毎週金曜日に首相官邸前で原発廃止を求める集会がもたれています。昨年3月29日に350人で始められ、6月29日には大飯原発再稼働に反対する20万人もが集まりました。

これに呼応して神戸でも7月6日から関西電力神戸支店前での集会が始まり、それを知った翌週13日から夫婦で参加をし続けています(夕6時から)。今年3月8日で32回の参加となりました(知らなかった初回とあわせて4回は所用でパス)。神戸は年末年始も休まず、集会を持ち続けています。第1回目の参加者は100人、150人、200人と参加者は増え、8月31日には「ブルームーン 人間の鎖」の取り組みが実施されました。関電の建物を取り囲もうというもので、その日は参加者500人が手をつないでしっかりと神戸支店を包囲できました。

毎回、「原発いらない」「再稼働反対」「子どもを守ろう」のシュプレヒコールと共に、参加者それぞれの思いを伝えあっています。そこで聞くのは、避難してこられた被災者の生の声・被災地でボランティア活動をしてこられた報告・被災地の子どもたちに安全な野菜を送ろうとの提案・政府のひどい対応に対する怒りの声 などなど。もっと皆に知ってもらえれば、原発反対の思いはもっと広がるだろうに、と悔しい思いをしています。

これらの取り組みに対するマスコミの無視や政府への絶望感もあってか、寒くなってから官邸前も神戸も参加者が少なくなっているのが残念です。テレビも自分たちが報道しないことは棚に上げて、参加者が減っていることを冷やかにコメントしています。

集会参加者数は「原発に反対」を具体的に世間に伝えられるものだ、その一人にカウントしてもらうことで微力ながら自分の役割を果たそう、という思いで参加しています。いろんな事情で参加できない方々の分も参加しているつもりですが、参加者数はやはり力です。都合がつく日は、是非ご参加をお願いします。

東日本大震災から丸2年を迎える前日の3月10日には、東京で「原発ゼロ☆大行動」が取り組まれ、のべ4万人の参加で集会や請願デモが実施されました。全国各地でも集会・デモが展開されています。神戸でも東遊園地で「震災復興・原発ゼロの社会へ あれから2年集会」が持たれ、1,000人が参加。市役所に向けて人文字「NO NUKES」を描き、雨と風の中で集会とデモを行いました。(丹羽めぐみ)



雨と風の中のデモ行進

7月に「兵庫の戦跡」(仮)を出版へ 戦争展の会、歴教協などが「語り継ごう」と

兵庫県各地の戦跡をまとめた本の出版準備が進んでいます。

「二度と戦争はおこしてはならない」という決意で、平和のための戦争展や戦跡巡りなど多彩な取り組みを重ねてきた『語りつごう戦争』展の会が、日本機関紙出版センターからの誘いを受けて、兵庫歴史教育者協議会(歴教協)をはじめ、各地の協力者を広く組織して、取り組んでいるもので、兵庫県下一円の戦跡を網羅する意気込み。戦争の歴史を後世に残し、引き継ぐ本ですが、学術書というよりか、むしろ若い人にも関心を持ってもらえそうな、ビジュアルでカジュアルな雰囲気ガイドブック的なものになりそうです。

九条の会、ひがしなだ、芦屋「九条の会」が、若い人たちとも一緒になって昨年、2回ほど開催した「史跡・戦跡めぐりの会」も高く評価され、執筆依頼がきています。

計画では、A5版150ページ前後で、写真を多用したビジュアルな本をめざし、各エリアの総合案

内的な「扉」の部分と、主要な戦跡をピックアップした、やや詳細な各論との組み合わせが特徴。定価は1500円前後に設定される模様で、7月末には店頭に出し、各地の「8・15平和のつどい」には、間に合わせたいとしています。

『語りつごう戦争』展の会」はこれまで、妙法華院（新開地）を会場とした「8・15につどい」、12月には「12・8のつどい」を軸に戦争展、平和色紙展、戦争体験を語る会（米倉澄子さんが語り部で出演）などを開催。また、10月にはマイクロバスをチャーターして、機動的な戦跡巡りを実施しており、今秋は東灘・芦屋・西宮方面が有力候補に上っています。（田所明治）

3・11から2年、原発が決して安全ではないことをフクシマが教えてくれました。この映画会を神戸演劇鑑賞会の会員が取り組んでいます。ちょっと遠いですが、出かけてみませんか？（テアトル9 田中千津子）

～六ヶ所ラブソディ～上映会のお知らせ



上映会+鎌仲ひとみ監督トーク

六ヶ所村
Rokkashomura Rhapsody
ラブソディ

2013年
3月30日[土]
三木市立市民活動センター
3F大会議室
上映①10:00～ ②13:00～ ③19:00～
鎌仲ひとみ監督トーク 15:10～
上映協力券 1,000円（当日1,500円）
※中高校生500円（前日のみ）、小学生無料
※上映協力券は映画と監督トーク両方に
必要です。

（持参券あり）詳しくは裏面へ

主催/いのちを考えるみき市民の会 協力/三木労音
後援/三木市、三木市社会福祉協議会、エフエムみき75.1MHz、e-音楽のみき
お問い合わせ先/三木労音 Tel. 0794-82-9775 メール info@mikiroon.com

この映画は日本の原子力産業の要、使用済み核燃料再処理工場がある六ヶ所村に生きる村人取材した映画です。

…原発の是非だけでなく私たちはもっと大きなものを問いかけているはずだと、制作しながら感じていました。それはいったい何なのか、ぜひ、映画を観て、あるいは自ら上映を主催して確認していただきたいと心から願っています。（監督 鎌仲ひとみ）

日時：3月30日（土）①10:00～
②13:00～ ③19:00～

場所：三木市立市民活動センター
3F会議室

上映協力券 1,000円

※ 神戸演劇鑑賞会事務所（中央区役所北側・サンパル8F）にも協力券を置いてあります。

※ 詳細は三木労音 Tel. 0794-82-9775 E-mail: info@mikiroon.com

「原発 シャベリ場」に参加 自由に聞けて、語り合える雰囲気

「原発 シャベリ場」という催しに参加してきました。「お芝居大好き」という神戸演劇鑑賞会の有志で作っている九条の会「テアトル9」のメンバーが中心になって、3月12日(火)10時から三宮で行われたもので、平日の午前中にもかかわらず、約30人が参加。講師の話をして20分ほど聞いた後、参加者が質問したり、意見を述べたり、「シャベリ場」の名称にふさわしい、自由な雰囲気の会合となりました。

この日の講師、というよりかメンゲストは、元東芝の原子力プラント設計技術者の後藤政志さん。後藤さんは「福島原発事故は終息しておらず、何かのキッカケで使用済み核燃料が溶けて流れ出たら、ケタ違いの大事故、壊滅的な事態になる」とみて、「むしろ海外の方が反響が大きい」と強調。「第三者の目で見て確認させない、という日本の“カルチャー”が、大事故を起こした」と分析して、第三者委員会による検証の重要性を訴えるとともに、「活断層にしても、安全と確認されるまでは、危険と考えるのが世界の常識」として、日本政府の姿勢を厳しく批判しました。



「原発 シャベリ場」の集い

さらに、質問に答えて、「とんでもない基準作りが進んでいて、何が起ころうとも不思議ではない」「政策を変えるだけで、自然エネルギーへの転換は可能」「核兵器の開発のために原発を続けるべき、という論者がいるが、これには無理があり、アメリカの核の傘の下にいて核廃絶といっても、日本は信用されない」「原発は止まっても危険な存在で、使用済み核燃料を処理する技術もなく、トイレなきマンションを作ること事体が政策として大間違い」「廃炉に新技術が必要というわけではなく、止められないから動かす、と言うのはとんでもない暴論」と、改めて強調しました。

自由に意見が言えて、質問も出しやすい、というレベルの高い集まりを、東灘でも時間をとって、やってみたいですね。
(田所明治)

これからの催し物

★★★3月24日(日) 14時～

宝塚九条の会、憲法学習会

場所：西公民館セミナー室

講演：上脇博之神戸学院大学教授 『憲法をめぐる情勢と私たちの活動』

学習会終了後今後のたたかひの打ち合わせ

参加費：無料

(連) heiwa@jttk.zaq.ne.jp

(共同センター週間ニュース NO. 394号 2013.3.14(木))